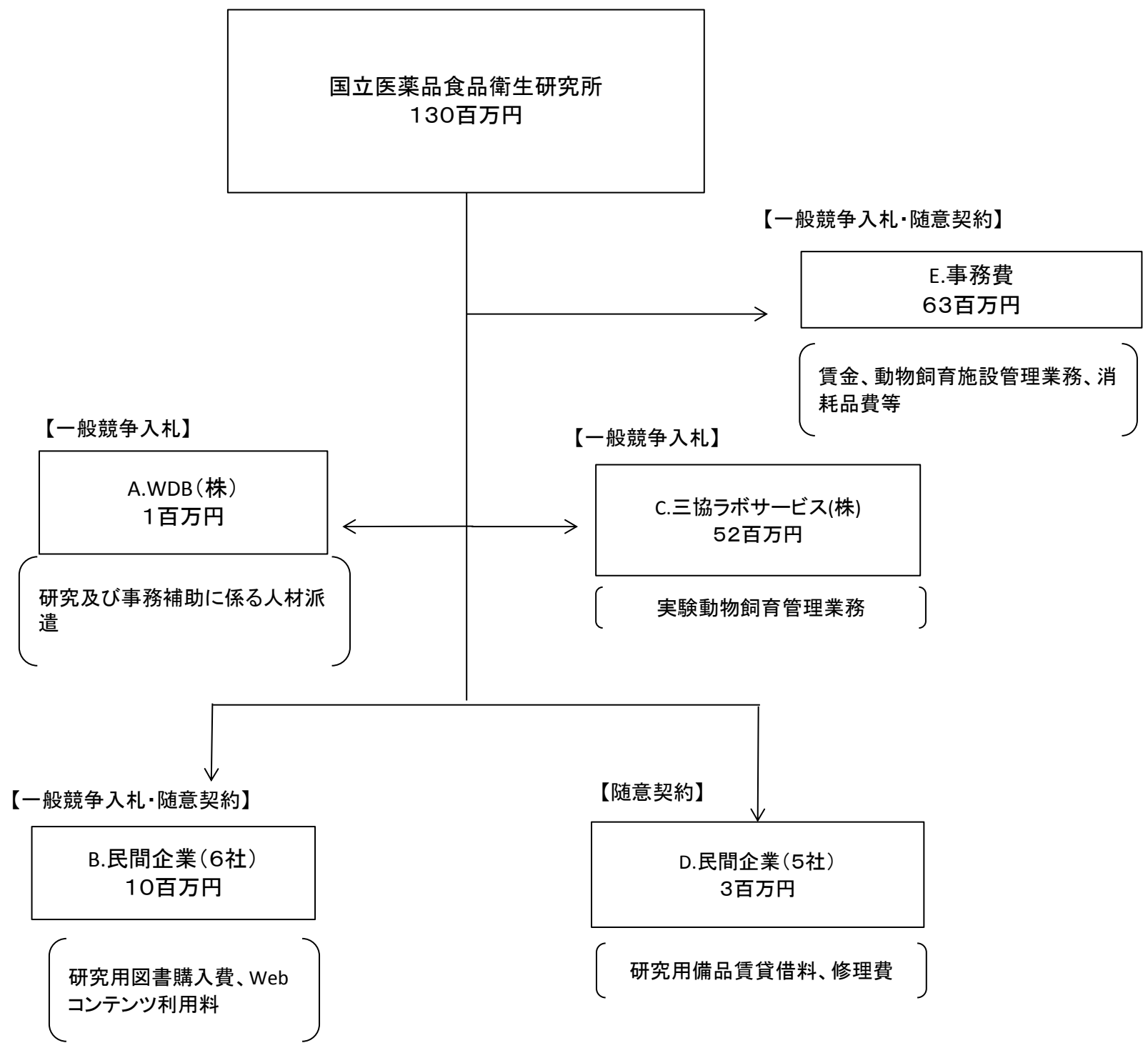


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	国立医薬品食品衛生研究所基盤的研究費			担当部局	国立医薬品食品衛生研究所			作成責任者
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部 会計課			橋本 昌浩
会計区分	一般会計			政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医薬品、医療機器、食品、食品添加物及び生活関連物資等に関する基礎的・基盤的研究を行い、国内外における諸分野の動向を踏まえた最新の規格・基準の策定等に寄与することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	①医薬品の品質・有効性・安全性確保に関する基盤研究 ②食品及び食品添加物等の品質・安全性確保に関する基盤研究 ③医療機器及び生活関連物質の品質・有効性・安全性確保に関する基盤研究 ④医薬品・食品・食品添加物及び生活関連物質等に係る各種毒性試験法等に関する基盤研究等を行う。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	183	182	130	130	0	
	執行額	183	182	130				
執行率(%)	100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	平成27年度には規格基準等策定等・行政報告を390件行う。	規格基準等策定等・行政報告数	成果実績	件	612	632	558	
			目標値	件	287	387	497	390
			達成度	%	213%	163%	112%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	研究課題数	活動実績	課題数	11	11	11		
		当初見込み	課題数	11	11	11	11	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	執行額(千円)/研究課題数	単位当たりコスト	千円	16,620	16,541	11,775	11,775	
		計算式	/		182,817/11	181,946/11	129,526/11	129,526/11
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	試験研究費	130						
	計	130	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国民の健康安全を確保するために必要な研究であり、国民のニーズは高く、国費の投入が必要である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国の医薬品、医療機器、食品等に係る規格・基準等策定に寄与することを目的に行う基礎的・基盤的研究であるため、国において実施することが適当である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	国民の健康安全を確保するために必要な研究であり、優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		×	国庫債務負担行為契約を締結した保守契約については、動作環境の互換性を維持する必要から当該業者以外には行うことができないため、随意契約を締結している。その他の少額随意契約の対象金額を超える案件については、一般競争入札を実施し、競争性を確保した。また、随意契約の場合であっても複数者から見積を徴収し、最廉価格の者と契約を締結した。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	妥当なコストとなっている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	真に必要な経費のみを支出している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	調達の際に競争性を保つことで、より効率的な予算の執行に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業目的達成のために効率的な方法で実施しており、また毎年度成果も着実にあげていることから、他の手段と比較して、実効性は高いと考えられる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	26年度に実施した研究課題数は11であり、見込に見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	国の医薬品、医療機器、食品等に係る規格・基準等策定に寄与している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 各研究課題については、「厚生労働省の科学研究開発評価に関する指針」に基づき、所内研究開発課題評価委員会において研究課題の評価を行っており、研究の効果的な実施に努めている。 執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。 医薬品、医療機器、食品、食品添加物及び生活関連物資等に関する基礎的・基盤的研究を行い、平成26年度においては558件の規格基準等策定等・行政報告を行った。 			
	改善の方向性	今後も引き続き同様に管理し、経費の適切な執行に努め、各分野における規格・基準の策定につなげていく。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
平成26年度に国庫債務負担行為に基づく契約を締結している。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	580	平成23年度	528	平成24年度	467
平成25年度	851	平成26年度	851		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.WDB(株)			E.非常勤職員		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	研究及び事務補助に係る人材派遣	1	賃金	研究及び事務補助に係る賃金	12
計		1	計		12
B.Elsevier B. V.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	Webコンテンツ利用料	5			
計		5	計		0
C.三協ラボサービス(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	実験動物飼育管理業務	52			
計		52	計		0
D.昭和リース(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	研究用備品賃貸借料 (平成26年度国庫債務負担行為)	2			
計		2	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	WDB(株)	研究及び事務補助に係る人材派遣	1	4	86.6%

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	Elsevier B. V.	Webコンテンツ利用料	5	随意契約	-
2	一般社団法人 化学情報協会	Webコンテンツ利用料	3	随意契約	-
3	丸善(株)	研究用図書購入費	1	4	85.4%
4	(株)有隣堂	研究用図書購入費	0.3	随意契約	-
5	アカデミア洋書(株)	研究用図書購入費	0.1	随意契約	-
6	(株)紀伊國屋書店	研究用図書購入費	0.1	随意契約	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三協ラボサービス(株)	実験動物飼育管理業務	52	2	89.1%

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	昭和リース(株)	研究用備品賃借料(平成26年度国庫債務負担行為)	2	随意契約	-
2	(株)バイオテック・ラボ	研究用備品修理費	0.5	随意契約	-
3	島津サイエンス東日本(株)	研究用備品修理費	0.1	随意契約	-
4	(株)エムアールテクノロジー	研究用備品修理費	0.1	随意契約	-
5	(株)日立ハイテクフィールドディングス	研究用備品修理費	0.1	随意契約	-

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員	研究及び事務補助に係る賃金	12	-	-
2	アズビル(株)	動物飼育施設建物総合管理業務	7	1	94.6%
3	ダイダン(株)東京本社	施設運営に係る保守点検業務	5	4	97.9%
4	尾崎理化(株)	研究用備品及び消耗品購入費	4	随意契約	-
5	関東油化(株)	施設運営に係る重油料	4	3	94.6%
6	三協ラボサービス(株)	動物飼育に係る消耗品購入費	2	随意契約	-
7	(株)夏目製作所	研究用消耗品購入費	2	随意契約	-
8	日本空調サービス(株)	施設運営に係る修理費	2	随意契約	-
9	オリエンタル酵母工業(株)	動物飼育に係る消耗品購入費	2	1	97.3%
10	(株)前田製作所	研究用備品及び消耗品購入費	2	随意契約	-